

アコースティックドラムづくりのノウハウと最新のデジタル技術が融合した次世代ドラム ヤマハ 電子ドラム『DTX10 シリーズ』 『DTX8 シリーズ』

ヤマハ株式会社は、電子ドラム「DTX Drums」の新製品として、『DTX10 シリーズ』 『DTX8 シリーズ』を9月25日（土）に発売します。



ヤマハ 電子ドラム 『DTX10K-X RW』（左） 『DTX8K-M BF』（右）

当社は、1967年からアコースティックドラムの販売を開始し、第一線で活躍するプレーヤーの厳しい意見や要求を反映した商品開発を行ってきました。電子ドラムとしては1986年に「PMC1」を発売、1996年には静粛性やセッティングの利便性に優れた「自宅で楽しむことができるドラム」として「DTX」シリーズを発売し、ご好評を頂いています。

今回発売する『DTX10 シリーズ』および『DTX8 シリーズ』は、ドラマーが求める理想のアコースティックサウンドと演奏感、デザイン、そして電子楽器ならではの利便性とその操作性を徹底的に追求した電子ドラムのハイエンドモデルです。自宅での練習はもちろんのこと、レコーディングやライブパフォーマンスにも最適な高い演奏性と機能性を持ち合わせ、無料アプリ「Rec'n'Share」を活用することで昨今ニーズが拡大しているSNSへの演奏動画投稿を簡単に行うこともできます。

<概要>

1. 著名なスタジオで録音された本物のサウンドや音の広がり、空気感を忠実に再現
2. 直感的なサウンドメイクを可能とする新ユーザーインターフェース
3. 好みに応じて選択できる2種類のヘッドタイプとヤマハアコースティックドラムの工場成型された美しい木胴シェル
4. ライブ、レコーディングユースにも対応する多機能性
5. アプリ「Rec'n'Share」での高音質な演奏動画の簡単作成・投稿や音楽制作など様々な用途にも対応

品名	品番	価格	発売日
ヤマハ 電子ドラム	DTX10K-X RW/BF	528,000円（税抜 480,000円）	9月25日（土）
	DTX10K-M RW/BF	473,000円（税抜 430,000円）	
	DTX8K-X RW/BF	341,000円（税抜 310,000円）	
	DTX8K-M RW/BF	286,000円（税抜 260,000円）	

※品番の末尾はヘッドタイプとシェルカラーを表しています（X：テクスチャード・セルラー・シリコン・ヘッド、M：メッシュヘッド、RW：リアルウッド、BF：ブラックフォレスト）。

■ 一般の方のお問い合わせ先：

株式会社ヤマハミュージックジャパン お客様コミュニケーションセンター

Tel. 0570-056-808

＜主な特長＞

1. 著名なスタジオで録音された本物のサウンドや音の広がり、空気感を忠実に再現

音質や表現力を最大限に追求し、トップドラマーが著名なスタジオで録音した本物のドラムサウンドに加え、そのスタジオでのみ生まれる音の広がりや空気感といったアンビエンスも録音、搭載しました。奥行き、広がりのあるステレオサウンドは、より表現力豊かな演奏を可能とします。また、アコースティックドラムのみならず多種多様なサウンドを搭載し、幅広い演奏表現を実現します。ヘッドホンアンプを新たに開発するなど、奏者へ届けるヘッドホンの音にもこだわりました。



2. 直感的なサウンドメイクを可能とする新ユーザーインターフェース

新開発の「KIT MODIFIER (キット モディファイアー)」は、ノブを回すだけでサウンドを自在に変化させることができます。「AMBIENCE (アンビエンス)」ノブは収録スタジオで録音した本物のアンビエンス成分や高品質のデジタルリバーブ、「COMP (コンプ)」は音が前面に出てくるようなコンプレッション効果、「EFFECT (エフェクト)」は各ドラムキットの音源に最適化されたエフェクトをコントロールします。

またフラグシップモデル『DTX10 シリーズ』には様々な機能を直観的にコントロールできる「LED ロータリーフェーダー」を搭載し、ライブシーンや自宅でのレコーディングに活用できます。



「KIT MODIFIER」



「LED ロータリーフェーダー」



豊富な入力端子

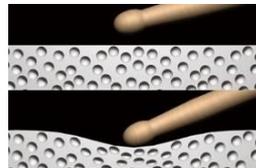
3. 好みに応じて選択できる 2 種類のヘッドタイプとヤマハアコースティックドラムの工場成型された美しい木胴シェル

ヘッドタイプはプレイヤーの好みに応じて 2 種類から選んでいただけます。ヤマハ独自の「テクスチャード・セルラー・シリコン・ヘッド」は発泡シリコン素材を使用し、その適度な硬さとリバウンドが演奏時の手首などへの衝撃を緩和しつつ、自然な打感と高い静粛性を実現し、特殊加工を施した打面がスティックの滑りを防ぎます。レモ社製で 2 プライ (層) 構造の「メッシュヘッド」は、1 プライのメッシュヘッドに比べ打感、耐久性に優れ、好みに応じてヘッドの張り具合を調整することもできます。

シェルカラーはリアルウッド (RW) ブラックフォレスト (BF) の 2 種類を用意しました。どちらもヤマハのアコースティックドラムの工場成型された木製のパーチプライシェルで、バッジ、ラグ、フープもアコースティックドラムパーツそのものです。



「テクスチャード・セルラー・シリコン・ヘッド」と打感イメージ



レモ社製の 2 プライメッシュヘッド



「リアルウッド (RW: Real Wood)」カラー



「ブラックフォレスト (BF: Black Forest)」カラー

4. ライブ、レコーディングユースにも対応する多機能性

フラッグシップモデル『DTX10 シリーズ』には、自宅でのレコーディングやライブシーンに活用可能な機能が豊富に搭載されています。「Individual Output 端子」は最大8つのサウンドを個別に出力することを可能とし、ヘッドホン端子は標準ジャックとミニジャックの2種を搭載しています。クリックやAUX INの音をヘッドホンのみに出すなどの設定もできます。USB 端子は直接パソコン、スマートデバイスと接続してオーディオデータやMIDIの送受信が可能です。新機能の「Live Set 機能」はキット、テンポ、オーディオファイルなど、あらかじめ設定した組み合わせをワンタッチで呼び出したり、オーディオデータにクリック設定を付加し、追従して再生させたり、プリカウントを追加する、途中でカウントを消すなど、様々な設定が可能です。「DTX Drums」ならではの高性能メトロノームやトレーニング機能も搭載し、自宅練習にも最適です。

5. アプリ「Rec' n' Share」での高音質な演奏動画の簡単作成・投稿や音楽制作など様々な用途にも対応

当社の無料 iOS/Android アプリ「Rec' n' Share (レックンシェア)」に対応し、インストールしたスマートフォン/タブレットをケーブル（別売）で接続するだけで、自分の演奏を上質なサウンドそのままに撮影、録画、編集、そして SNS へのアップロード・シェアまでを簡単に行うことができます。デバイス内に保存してある楽曲にあわせて演奏を手軽に録音できるほか、高音質な演奏動画の作成、ミックスや簡易編集、SNS へのアップロードまでをアプリ内で簡単に行うことができ、ユーザーの演奏動画投稿をサポートします。

また Steinberg 社製の音楽制作ソフトウェア「Cubase AI」のダウンロード版ライセンスを付属しており、レコーディング・音楽制作をお楽しみいただくことができます。



<製品仕様>

製品仕様の詳細は、製品サイトをご参照ください。

https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/drums/el_drums/drum_kits/



『DTX10 シリーズ』 モジュール「DTX-PROX」のフロントパネル（写真左）とリヤパネル（写真右）



『DTX8 シリーズ』 モジュール「DTX-PRO」のフロントパネル（写真左）とリヤパネル（写真右）

<カラーバリエーション> ※配線は省略しています



『DTX10K-X RW』



『DTX10K-M BF』



『DTX8K-X RW』



『DTX8K-M BF』

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：稲満（いなみつ）

TEL. 03-5488-6605

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/（取材申し込みや広報資料請求が可能です）

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン お客様コミュニケーションセンター

TEL. 0570-056-808（ナビダイヤル、全国どこからでも市内通話料金）
